

緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE※) 平成20年度創設

- 地震、水害・土砂災害等から**国民の生命と財産を守ることは国の基本的責務**
- 地球温暖化等による災害リスクの増大に対し、
人員・資機材の派遣体制等の充実を図り、危機管理体制を強化

※Technical Emergency Control Force

・これまでの国による緊急支援は**その都度**体制をとって対応

- ・あらかじめ職員をTEC-FORCE隊員として任命するなど、
事前に人員・資機材の派遣体制を整備し、迅速な活動を実施
- ・平時にシミュレーション、訓練を行うことによりスキルアップ

活動内容

- 全国の地方支分部局職員等が本省の総合調整により活動
- 国が主体的に緊急調査を実施
- 関係機関と連携して必要な緊急応急対策を実施

事前に**人員・資機材の派遣体制、
受け入れ体制**を整備



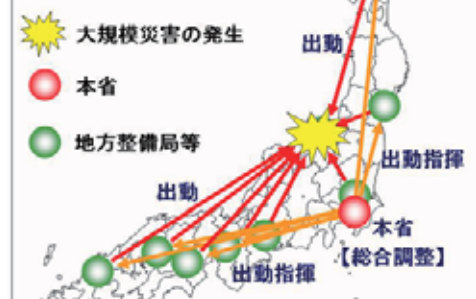
災害対策ヘリ



排水ポンプ車

- **被災状況の迅速な把握**
- **社会基盤施設の早期復旧**
 - ・初動対応の迅速化
 - ・専門チームによる集中対応
 - ・復旧対策に関する技術指導の充実・強化
- **二次災害の防止**
 - ・被災箇所に対する高度な技術指導
 - ・応急対策(立案・実施)
 - ・災害危険度予測(避難判断)
- **その他災害応急対策**
 - ・緊急輸送の調整

新潟県中越沖地震
における初動体制
のイメージ図



TEC—FORCEの班編成

➤先遣隊: 先行的に派遣し、応援・支援の必要性や規模を把握のうえ、派遣元の地整へ報告
〔地整等職員〕

➤現地支援班: 現地の緊急災害対策(TEC—FORCE)各班及び被災地整等災害対策本部との連絡調整、災害情報、応急対策活動状況等の情報収集、現地支援センターとしての被災地の支援ニーズの把握等を実施
〔地整等職員〕

➤情報通信班: 衛星通信車、Ku—SAT、照明車を派遣し、被災状況の映像を配信
〔地整等職員〕

➤高度技術指導班: 河川、砂防、海岸、道路、港湾等の所管施設について、特異な被災事例等に対する技術指導、被災施設等の応急措置及び復旧方針樹立の指導
〔本省職員、地整等職員、国総研職員、土研職員、港空研職員〕



先遣隊



現地支援班



情報通信班



応急対策班

➤被災状況調査班:
(防災ヘリグループ)
防災ヘリにより、被災状況を把握
〔地整等職員〕
(現地調査班)
踏査等により、河川、砂防、海岸、道路、港湾等の所管施設の被災状況を調査
〔本省職員、地整等職員〕



防災ヘリグループ



現地調査班

➤応急対策班:
・排水ポンプ車、照明車を派遣し、排水を実施
・無人化施工機械、照明車を派遣し、二次災害の危険のある箇所出土砂を撤去
・応急組立橋、資材を用いて、迂回路の設置等の応急復旧を実施
・変位等の計測、ポンプ排水や押さえ盛土等の実施
・堤防決壊による河川の氾濫が発生した場合に、ポンプ排水、応急仮締め切り等を実施
〔地整等職員〕